

全国の実施状況

1. 朝ごはんやさん(大阪市立西淡路小学校)

項 目	内 容
開 催 場 所	大阪市立西淡路小学校 家庭科室
運 営 主 体	西淡路地域活動協議会 ※ボランティア(約 10 名 月 3 名・水 3 名・金 4 名)で朝食を準備し、提供します。
開 催 頻 度	毎週3回(月・水・金曜日)
時 間	午前7時 30 分～午前8時 10 分
参 加 対 象	西淡路小学校の全児童(事前申込制)
料 金	1食 50 円(要保護児童は無料)
そ の 他	必要経費は 1 食 200 円であるが、75%(150 円)は地域活動協議会から補助

2. 朝ごはん推進モデル事業(広島県)

広島県では、県内の全ての子供たちが朝食を食べることができる環境を整備し、子供の能力と可能性を高める基礎となる生活習慣を身に付けてもらうため、平成 30 年度からモデル事業に取り組んでおり、事業に要する経費や運営方法、成果などを検証することとしている。

(1)あじな東っ子モーニングひろば～朝ごはんを食べよう！～

項 目	内 容
目 的	全ての児童が、朝食を食べることにより、健康的な生活リズムや食習慣を確立し、確かな学力を育むことができる環境を整える。
開 催 場 所	廿日市市立阿品台東小学校内 阿品台東児童会
運 営 主 体	阿品台東小学校・阿品台中学校 学校支援地域本部地域教育協議会 ※ボランティア(約 10 名)で朝食を準備し、提供します。
開 催 頻 度	1回／週(水曜日)
時 間	午前7時 40 分～午前8時5分
参 加 対 象	阿品台東小学校の全児童(事前申込制)
料 金	無料

全国の実施状況

食 材	企業から無償提供
そ の 他	広島県の「朝ごはん推進モデル事業補助金」※を活用
協 力 企 業	11 社 味の素(株)中四国支店、アヲハタ(株)、大塚製薬(株)、カゴメ(株)、カルビー(株)、キッコーマン飲料(株)、(株)タカキベーカリー、日本ケロッグ(同)、(株)ますやみそ、マックスバリュ西日本(株)、山口県東部ヤクルト販売

※「朝ごはん推進モデル事業補助金」とは、朝ごはん推進モデル事業に要する経費（例えば、備品・食器類などの購入費用や施設・設備の整備費用など）の初期費用について、実施団体及び施設整備を行う市町に対し、補助金を交付するもの。

(2) 府小っ子 モーニング ビュッフェ～朝ごはんを食べよう！～

項 目	内 容
目 的	全ての児童が、朝食を食べることにより、健康的な生活リズムや食習慣を確立し、確かな学力を育むことができる環境を整えること。
開 催 場 所	府中町立府中小学校 家庭科室
運 営 主 体	府中町婦人会 ※ボランティア(約 12 名)で朝食を準備し、提供します。
開 催 頻 度	当面 1 回/週(水曜日)
時 間	午前 7 時 40 分～午前 8 時 00 分
参 加 対 象	府中小学校の全児童(事前申込制)
料 金	無料
食 材	企業から無償提供
そ の 他	広島県の「朝ごはん推進モデル事業補助金」※を活用
協 力 企 業	14 社 味の素(株)中四国支店、アヲハタ(株)、大塚製薬(株)、カゴメ(株)、カルビー(株)、キッコーマン飲料(株)、(株)サタケ、昭和産業(株)、(株)タカキベーカリー、日本ケロッグ(同)、(株)ますやみそ、マックスバリュ西日本(株)、山口県東部ヤクルト販売

※「朝ごはん推進モデル事業補助金」とは、朝ごはん推進モデル事業に要する経費（例えば、備品・食器類などの購入費用や施設・設備の整備費用など）の初期費用について、実施団体及び施設整備を行う市町に対し、補助金を交付するもの。

全国の実施状況

3. 学校で朝ごはん(足立区立足立入谷小学校)

項 目	内 容
目的	児童の健康や体力の向上、生活リズムの安定、児童たちに朝食の良いイメージを伝え、大人になった時に朝食を用意する習慣を身に付ける
開催場所	足立区立足立入谷小学校 家庭科室
運営主体	地元自治会や住区センターで活動する等している地域のボランティア(6名程度)
開催頻度	各学年2回ずつ、全 12 回、すべて火曜日に実施 (月に1～2回開催、5～2月まで全 12 回)
時間	午前7時 30 分～午前8時 00 分
参加対象	希望する児童とその兄弟(事前申込制)
料金	無料
食材	地域から無償提供

4. 高知県

(1)高知市立第四小学校

2014 年 12 月から取り組む「お話しモーニング」。子どもたちに朝ごはんの大切さを知ってもらおうと、地域の人や大学生が協力し、月に1、2回朝食を提供する。メニューは、白いご飯と季節の具材の入ったみそ汁だけ。

(2)高知市立鴨田小学校

2015 年末、朝食を食べていない子供の割合が高かったため何とかしようと、鴨田地区の民生委員児童委員協議会を中心に、第四小学校の取り組みを参考にし、“楽しく朝食を食べる会”をスタート、月に1回朝食を提供する。メニューは、白いご飯と季節の具材の入ったみそ汁だけ。米は地域の方からの寄附。

(3)高知市立神田小学校

2016 年に入り、高知市立鴨田小学校と同じ鴨田地区内にある神田小学校でも、同様の取り組みがスタート。

5. 福岡市

福岡市では7つの小中学校がパンやバナナを出している。福岡市立西陵中学校で

全国の実施状況

は 2017 年5月から、毎週火曜日に朝ご飯の提供を始めた。バナナは輸入時の検疫検査でサンプルとして開封され、問題がなかったもの150本ほどを、フードバンクを通じて輸入企業から譲り受ける。パン約200個と牛乳約25本は地元生協から。スクールソーシャルワーカーが食材を学校に届け、住民が準備や片付けを担う。隣接する福岡市立西陵小学校でも、毎週水曜日に実施している。